

12 Jomon Times

vol.154 広報 縄文村だより vol.154 (12月号)



平成30年12月1日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928



縄文写真館



さかなつりゲーム



優勝賞品はカキ10コ!やった!

縄文カキ剥き競争

鹿角ハンマーと鹿の骨のヘラを使って、カキ剥きに挑戦。10個のカキをいかに速く剥くか勝負!「縄文式」なので誰もが初心者!今年の優勝者は小学生の男の子でした。



縄文キッチン

土器で作った「縄文そば粥」と「シシ鍋」をお振る舞い!カモやイノシシのお肉を珍しそうに味わっていました。



縄文ソバ粥の歌声で会場も魅了!

奥松島縄文村まつり開催!

10月21日(日)「奥松島縄文村まつり」を開催しました。今年は発掘100年を迎えるメモリアルイヤー!里浜貝塚を一周しながらクイズを解く「クイズラリー」や、石巻きぼうゴスペルクワイアさんによる「ゴスペルコンサート」でおまつりを盛り上げていただきました。ほかにも、縄文を楽しめる様々なイベントを楽しむ人で賑わいました。



縄文体験
メイン会場のテントは、縄文体験を楽しむ親子でいっぱいになりました。



フリーマーケット

会場内の芝生には、服やおもちゃ、手作り雑貨を並べたフリーマーケットがずらり!

山の縄文のムラ、御所野遺跡へ! バスマター in 岩手

10月28日(日)歴史探訪バスツアーを開催し、33名の皆さんと一緒に岩手県一戸町にある「御所野縄文公園・博物館」へ行ってきました。広い敷地に立派に復元された竪穴住居や掘建柱建物、見頃を迎えた色とりどりの紅葉に一同感動!



竪穴住居の中へおじゃまします!



御所野遺跡といえば「竪穴住居」ははずせません!初めて「土屋根」であることが証明され、縄文時代の家のイメージを変えた遺跡なのです。

解説にふむふむ...



学芸員さんの説明に、熱心に聞き入る皆さん。当時と同じ場所に建物が復元されていると聞き、縄文時代に思いを馳せます。

博物館でじっくり。



公園の後は博物館を見学。まつりで使われたと思われる遺物の数々をじっくり見学しました。

縄文村からのお知らせ

■特別展「里浜貝塚が明らかにした縄文時代」開催中
(期間) ~2019年1月20日(日)
(会場) 奥松島縄文村歴史資料館 2階展示室

■カキまつり & 東松島市観光と物産のPR会に出張!
(日時) 2018年12月2日(日)
(会場) 野蒜市民センター
縄文村は、縄文服を着て記念撮影する「縄文写真館」と縄文そば粥のお振舞いで参加します!!

■火おこし体験はお休みします。
土日体験および平日の縄文体験での「火おこし」は冬季休みに入りました。4月の再開をお待ちください。

■年末年始休館のお知らせ
12月29日(土)~1月3日(木)まで年末年始休館を頂きます。よいお年をお迎えくださいませ。

もっと知りタイ! 地域おこし協力隊〈第20回〉

■問 地域おこし協力隊事務局 復興政策課地域振興班 ☎内線1232



地域の「元気」のために尽力



子ども支援・復興支援

かみよし ゆうご
神吉 雄吾さん(50)
けいこ
恵子さん(46)



私たちは、地域の子どもの健全育成に関わることや、復興支援に関わるお手伝いを主な活動としています。たいそうなことではなく、ただ「地域を元気にするために自分たちができることはないかな」と考えていることを形にして実施している、そんな感じです。

主な活動は宮野森小学校裏にある復興の森の管理や整備、学校や保育園など、子どもの健全育成に関わる部分に多く携わっています。

復興の森も整備から6年以上が経過しましたが、学校の先生方や地域の保護者の皆さんからも「重要な教育材料」として徐々に認識されるようになりました。

この森は、震災を経験した地域の皆さんや団体、かつての小学生たちが力を合わせて作った森です。これから「震災を知らない」子どもたちが増えてくると思いますが、この森の存在を通して、震災を後世に伝えられれば良いと思います。

私たちが健全育成の一環で関わった子どもたちがどんどん大きくなって、大人になっていく。それを見届けられるのが、一番のうれしさですね。

目まぐるしく進んでいく復興の様子を、こうしてよそ者の視点で間近で見られるのは貴重な体験だと思います。これからもいち地域住民として、またよそ者の視点も持って、地域のために力を尽くしていきたいと思えます。